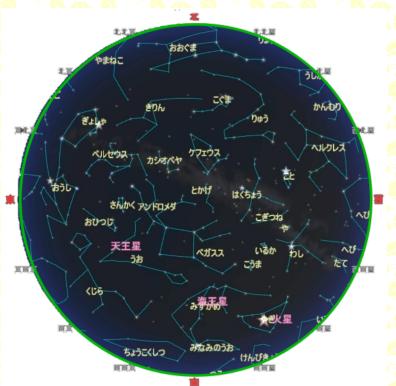


10月0星空

10月になると季節風が強まって、紅葉の季節もあっという間に通り過ぎていきます。

天の川はいて座付近が沈みかけていますが、わし座からペルセウス座にかけて見えています。宵空の星座は夏から秋へと変わりつつあり、カシオペヤ、ペガスス、アンドロメダ、うおなどの星座が見やすくなってきます。夏の大三角に代わる秋の目印はペガスス座にある四角形秋の四辺形ですが、とかげ座からペルセウス座にかけて星団がたくさんあります。アンドロメダ銀河(M31)は肉眼でも見え、双眼鏡で長丸い姿がわかります。三角座にも双眼鏡で見える大きな銀河(M33)があります。東の空にはプレアデス星団も見えています。



流星は9日にりゅう座流星群、22日にオ

リオン座流星群があります。オリオン群は夜中過ぎに見られますが、満月前の月があるので沈んだ後の方が良いでしょう。

惑星は、年末まで見やすい惑星がありません。天王星と海王星が見られますが小さく暗いので観望にはあまり適しません。土星は夕方の南西にありますが、今月で終了です。火星も夕方見られますが少し小さくなってきました。水星、金星、木星はいずれも太陽に近く観望には適しません。

10月の太陽・月と主な惑星の出没

	太	陽		月	金	星	火	星	木	星	土	星	
日	出	没	出	没	出	没	出	没	出	没	出	没	
01	05:29	17:16	21:14	11:38	08:43	17:50	15:02	23:59	09:21	19:05	12:49	21:33	
11	05:41	16:58	07:36	18:26	08:05	17:06	14:32	23:45	08:52	18:31	12:12	20:56	
21	05:54	16:41	15:27	01:45	07:03	16:20	14:03	23:35	08:23	17:57	11:37	20:19	
31	06:07	16:26	22:09	12:29	05:46	15:37	13:35	23:26	07:55	17:24	10:01	19:43	

ご 利 用 案 内

●開館時間と休館日

木曜から月曜日 10:00~19:00 水曜日 10:00~17:00

10月1日から3月31日まで冬季時間の営業になります。

- ※火曜日は終日休館、水曜日は17時以降休館
- ※天候が悪い場合や事業等で観望できないこともあります ので、事前に確認してください

	URL= Email	.jp/shte	enmon/				
4	10月	の開館	状況	木館日、10時~17時			
Ì		月	火	水	木	金	土
2		1	2	З	4	ເວ	6
ì	7	8	9	10	11	12	13
F	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
4	28	29	30	31			
Ĺ							
		_ &	Jan J				AL CO

0164-67-2539

天文現象

2: ▼下弦

月が最北(赤緯+20°50.3′)

6:月の距離が最近(36万6392km)

8:寒露 (太陽黄経195°)

9:10月りゅう座流星群が極大(10/5~13)

●新月

10: 月が水星の北を通る 月が金星の北を通る 12: 月が木星の北を通る

<mark>15:水星が金星の北を通る</mark>

月が土星の北を通る

16:月が最南(赤緯-21°07.0′)

17:上弦

18:月の距離が最遠(40万4227km) 月が火星の北を通る

22: 準惑星エリスが衝 (くじら座、18.7等) オリオン座流星群が極大のころ (10/10~11/5)

23:霜降(太陽黄経210°)

24: 天王星がおひつじ座で衝 (5.7等)

25: 〇満月

金星が内合(以後明け方の空)

30:月が最北(赤緯+21°15.2′)

●りゅう座流星群

8~9月に地球に近づいたジャコビニ・チンナー彗星に伴う流星群で、彗星の接近から1ヶ月と少ししか経っていないので、期待したいところです。過去には大出現が期待されながらほとんど見られなかったこともあり、過大な期待は禁物の流星群です。見られるのが夕方の空なので、流星群としては見やすい方です。放射点はベガの北で、りゅう座の頭にあるゆがんだ四角形の所です。あまり明るくはないが、ゆっくり流れるのが特徴です。

●オリオン座流星群

22日ころ極大になるオリオン座流星群は、 ハレー彗星に伴う流星群です。21時過ぎに東 から上がり、3時過ぎには南の空高くかかりま す。流星がどれくらい流れるか分かりません が、1時間に10~20個程度かと思われます。 今年は満月近い月があるので見づらいです。 オリオン座群は、青白く速いのが特徴です。

ハレー彗星は現在海王星の軌道近くにあり、 2019年に太陽から最も遠い遠日点(えんじつてん) を通過します。太陽に最接近するのは2061 年です。

●天干星が衝

20日に天王星が地球に近づきます。近づくと言っても距離が遠いため、肉眼でかすかな光が見えるだけです(5.8等星)。望遠鏡では小さく丸い姿が分かりますが、模様らしいものはまったく見えません。今年はうお座からおひつじ座へ移動しますが、近くにある星ではうお座110番星(4.3等)が目印になります。アルファ星アルリシャを見つけて、110番星の左上を探せば見つけやすいでしょう。

